

鉛クロムフリー  
内外部上塗り用合成樹脂調合ペイント

建築用



# ペンフォルテ ライト

F☆☆☆☆  
合成樹脂調合ペイント



はけ対応 ローラー対応 エアレス対応

## 特長

### ■鉛クロムフリー

### ■耐候性

外部適性があります。

### ■作業性

塗料配りが良く、はけ・ローラー塗装の作業性が優れています。

### ■仕上がり

鮮映性に優れ、なめらかできめ細かく、肉持ち感があります。

注) 鉛クロムフリー化により、色相により隠べいが悪くなる場合があります。予めご了承ください。

## 用途

### ■鉄扉・鋼製建具・手摺り・一般鉄部・木部等の建物付帯設備の美装・保護

注) コンクリート・モルタル等のアルカリ性素材には塗装を避けてください。

注) 結露の著しい箇所では、膨れ等の不具合を発生することがあります。当該塗料での塗装は避けてください。

注) 油性塗料の特性として、屋内の暗所においては塗装後経時で塗膜が黄変することがあります。

注) 変色が目立ちやすい淡彩色を採用する場合は、仕様変更を行っていただき、水性スペースエースをご使用ください。

注) 控見本板をお持ちの場合、保管場所によっては暗所焼けなど変色することがありますので、事前に色の確認をお願いします。

## 塗膜性能

### ■ JIS K 5516 1種相当

## 容量・色

### ■ 15kg・3kg / 白・調色

(現場調色にはペンフォルテライト原色をご使用ください。この原色は調色用の原色です。)

## 塗付量

### ■ 25 $\mu$ m : 0.11~0.14kg/m<sup>2</sup> (7~9m<sup>2</sup>/kg) (約107~136m<sup>2</sup>/石油缶)

注) 使用量は当社の標準値です。下地の状態により使用量が異なることがあります。

### ■ 希 積 (20℃) : 塗料用シンナー A

は け・ローラー 5~10%  
エアレス 5~15%

## 標準塗装仕様

### ■鉄部の場合

工 程	塗 料 名 (希釈剤)	膜厚 ( $\mu$ m/回)	希釈率 (%)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗 装 間 隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	ディスクサンダー・ワイヤブラシ・スクレーパー等でさび、黒皮をできるだけ除去し、油脂・グリース等はシンナー拭きする。						
下 塗	超速乾リンサンデラストHB (塗料用シンナー A)	35	5~10	0.14	1	16時間~10日	は け ローラー
上塗-1	ペンフォルテライト (塗料用シンナー A)	25	5~10	0.11	1	16時間~7日	は け ローラー
上塗-2	ペンフォルテライト (塗料用シンナー A)	25	5~10	0.11	1	—	は け ローラー

### ■木部の場合

工 程	塗 料 名 (希釈剤)	希釈率 (%)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗 装 間 隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	しみ・汚れ・油脂を完全に除去し、サンドペーパーで素地を平滑にする。やにの多い箇所、節はセラックニスでやに止めする。					
下 塗	SPペイント下塗白 (塗料用シンナー A)	5~10	0.12	1	1日~7日	は け
空研ぎ	サンドペーパー # 120 ~ # 220 で塗膜表面を軽く空研ぎする。					
上塗-1	ペンフォルテライト (塗料用シンナー A)	5~10	0.11	1	16時間~7日	は け
上塗-2	ペンフォルテライト (塗料用シンナー A)	5~10	0.11	1	—	は け



神 東 塗 料

## 安全衛生

	塗料	シンナー
引火点	35℃	44℃
有規則区分	3種	3種
危険物分類	4類2石	4類2石
特化則区分	特別有機溶剤等	—

## ■ 取り扱いに関する一般的注意事項

## ■ 調合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
2. 使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
3. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
4. 希釈シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は規定量内でご使用ください。

## ■ 塗装

1. 気温5℃以下、湿度85%RH以上のときは塗装禁止です。低温時は乾燥遅延となり、高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短期で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合には塗装を避けてください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ素地には、塗装を避けてください。
6. **油性塗料の特性として、屋内の暗所においては塗装後経時で黄変することがあります。変色が目立ちやすい淡彩色を採用する場合は、水性塗料（水性スベースエース等）を適用してください。**
7. 控見本をお持ちの場合、保管状況によっては変色することがあります。事前に色の確認をお願いします。
8. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など）を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
9. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
10. 溶剤系塗料のため、室内での塗装時および取り扱い時には換気を十分に行い、火気厳禁としてください。また、塗装後養生時は空気の流通を確保してください。

11. 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。

## ■ 緊急時の対応

1. 目に入った場合には、多量の水で洗眼し、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、安静にし、必要に応じてできるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は砂などを散布した後処理するか、布で拭き取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

## ■ 廃棄

1. 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
2. 使用済みの塗料缶や塗料は付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所への廃棄はしないでください。）

## ■ 保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を厳守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。  
※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらしゆたかにあざやかに未来を創造するコーティング



神東塗料

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315

名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318

大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268

中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108

九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。